

市議会だより さつて



一面に咲き誇る曼珠沙華、秋を感じさせます!

9月定例会のおもなことから

- ・令和2年7月臨時会・9月定例会議案 …… 2～4ページ
- ・各常任委員会での審査 …… 5～7ページ
- ・市政に対する一般質問 …… 8～14ページ
- ・議会報告会について …… 15ページ
- ・議決結果の一覧、編集後記 …… 16ページ

No.96
2020年
11月

令和元年度一般会計決算を認定

歳入総額 **171億377万円**
(前年度比12.0%減)

歳出総額 **164億68万円**
(前年度比11.7%減)

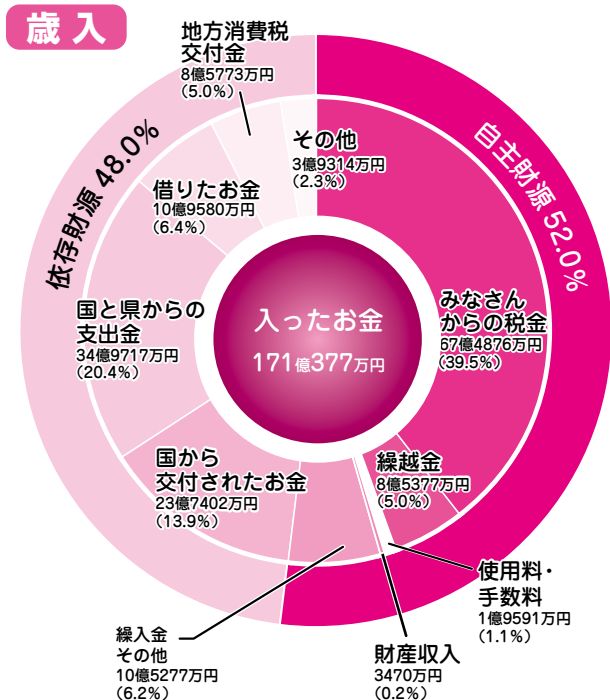
形式収支額
実質収支額 (決算剰余金)

7億309万円
6億7,732万円

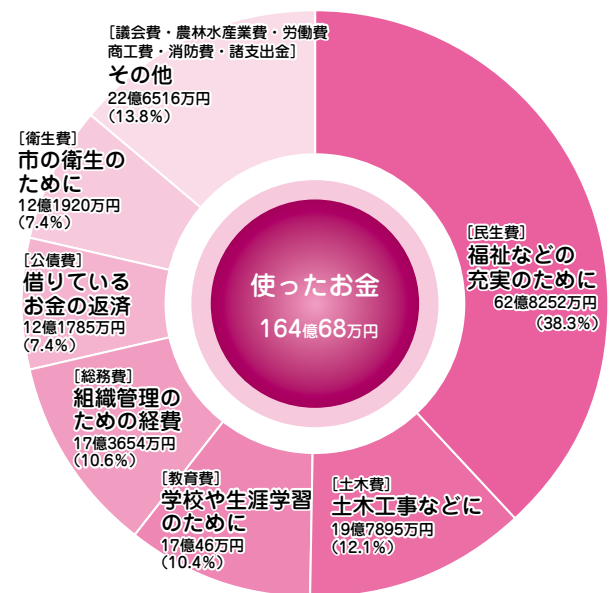
令和元年度一般会計の決算状況

9月定例会・7月臨時会

歳入



歳出



歳入・歳出

歳入では、自主財源の根幹を占める市税(みなさんからの税金)は、前年度比2.6%の増となりました。予算現額に対する収入率は100.9%。

歳出では、予算現額に対する執行率は前年度比0.5ポイント減の94.3%。人件費・扶助費・公債費(義務的経費)の歳出総額に占める割合は前年度比1.2ポイント減の45.3%でした。

令和2年9月定例会は、9月1日から9月28日までの28日間の会期で開かれました。市長提出議案は、水道事業会計未処分利益剰余金の処分1件、令和元年度一般会計決算の認定・特別会計決算の認定8件、条例改正案4件、幸手市都市計画マスタープランの一部改定1件、市道路線認定・変更・廃止3件、令和2年度一般会計・特別会計補正予算6件、人事案件4件の合計27件でした。議員提出議案は1件でした。審議の結果、いずれも原案の通り認定、可決、同意されました。

一般質問は、12人の議員が市政をたえました。

また、それ以前の7月31日に開催された臨時会において、市長提出議案3件が可決され、議員提出修正案1件が否決されました。

一般会計・特別会計の決算状況

一般会計・特別会計(水道事業会計・公共下水道事業会計を除く)歳入決算合計は前年度比13.3%減の280億1207万円。歳出決算合計は同比13.0%減の269億3864万円でした。

水道事業会計決算は収益的収入が11億1390万円。支出は10億5449万円でした。

臨時会の主な提出議案

(議案第45号)
幸手市長及び教育長の給料の減額に関する条例

新型コロナウイルス感染症拡大による市内経済への影響を鑑み、市長3割及び教育長1割の5ヶ月分の給料を減額することになりました。

(議案第46号)
令和2年度幸手市一般会計補正予算(第5号)

新型コロナウイルス感染症対策を強力に推進する国の令和2年度第2次補正予算が6月12日に成立しました。主に新型コロナウイルス感染症拡大を防止すると共に、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援する事業について、歳入歳出それぞれ5億2743万5千円が追加補正されました。

第1回臨時会
 本会議議案質疑内容
令和2年度幸手市一般会計補正予算(第5号)
 (議案第46号)

質疑

財政調整基金の今年度末の見込みについて伺います。

幸手市の標準財政規模からすると、110億円ですから、10%にすれば、最低でも10億円から11億円ぐらいの財政調整基金が必要かと思えます。

答弁

ご質疑いただきました財政調整基金の今年度末の見込みですが、現在のところ、今回の取崩し分を入れてですが、2億5368万7千円になります。財政調整基金の残額見込みを含めまして、一般会計総額の基金、今年度末の見込みで、5億2603万5千円という数字を見込んでいます。

9月定例議会
 本会議議案質疑内容
令和元年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について
 (議案第49号)

質疑

職員、再任用職員、臨時職員それぞれの人数、給与、手当について伺います。

答弁

人数についてですが、令和2年3月31日時点で、職員322人、再任用職員32人、臨時職員200人です。給料、手当については、給料が、一般職員分については、給料10億9719万3588円、手当7億2225万3847円です。再任用職員については、給料5150万4千円、手当1561万3255円です。臨時職員については、賃金2529万9827円です。共済費については、職員共済組合負担金3億7460万5276円、地方公務員災害補償基金負担金224万4995円です。

令和元年度その他会計の決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険特別会計	5,951,143,211	5,830,437,850	120,705,361
後期高齢者医療特別会計	635,473,929	630,226,386	5,247,543
介護保険特別会計	3,763,557,249	3,628,876,282	130,748,967
農業集落排水事業特別会計	35,136,609	33,754,935	1,381,674
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	522,991,624	414,662,627	57,944,997
水道事業会計(収益的収支)	1,113,895,947	1,054,486,650	59,409,297
公共下水道事業会計(収益的収支)	709,695,221	684,901,681	24,793,540

(議案第49号)
令和元年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について

賛成討論

四本 奈緒美

この度の令和元年度幸手市一般会計歳入歳出決算において実施された施策を見ますと、総務分野においては、ふるさと納税募集事業で、募集サイトや返礼品目を増やすことにより県外寄付者が増加したことは、全国に幸手市をPR出来た事と評価します。

民生分野においては、公明党が提案をしてきたエンディングノート「未来ノート(こころ)」が官民協働により幸手市持出し0円で作成された事は、費用対効果が大きく今後の活用が期待されます。また、幼児保育・教育の無償化の実施は、少子化対策を強化するものと大いに評価します。

教育分野においては、ブックスタート・セカンドブックスタート・読書通帳の事業が継続された事は、子供達の豊かな心を育むものであると評価します。依って、公明党は賛成討論とします。

賛成討論

松田 雅代

歳入では、自主財源比率が52.0%となり収入未済額が減少したことを、歳出では3世代ファミリー一定住促進、3歳児眼科屈折検査、不妊治療などのきめ細かなサービス、幼児教育・保育の無償化などの執行を評価いたします。今後も安心して子育てができる優しい街づくりを強力に推進し、減少傾向にある出生数の増加に結び付くよう期待いたします。

一方、実質単年度収支は4年連続の赤字、基金残高が9億円台に減少など、今後、さらに厳しい財政運営が想定されます。総事業費が資金計画上事業費に比べ一般財源、市債を合わせ17億円の持ち出しとなる重点プロジェクト3事業のような事業計画管理及び予算管理では計画的・持続的な財政運営は不可能です。改善を強く求め会派市政クラブの賛成討論といたします。

(議案第54号)
令和元年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

反対討論

武藤 壽男

幸手駅西口土地区画整理事業の歳出に於いて、工事請負費の内、地下埋設物撤去・処分等工事費1840万800円の支出があります。これについて私は、予算の段階から疑義を申し上げて参りました。従前の土地所有者に明らかな理由がない限り、埋設物の撤去・処分については、原因者負担の原則である以上、公費(市費)で負担し処分することは、今後の事業推進、市事業の実施に法的にも難題となり、公平性、妥当性の面からも認め難く、決算の認定については、反対といたします。

人事案件

副市長

和栗 肇 氏

を選任することに同意しました。

教育委員会委員

高島 勝也 氏

藤沼 寛次 氏

を任命することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

荒川 琢哉 氏

を選任することに同意しました。

幸手市議会からの

お知らせ

◆12月定例会の開催予定◆

令和2年12月定例会は、11月30日(月)から12月18日(金)までの19日間にあたり開催する予定です。《12月定例会の主な内容》

11月30日

開会・会期の決定・報告事項・市長提出議案

一括上程、提案理由説明

12月1・2・3日

市政に対する一般質問

9日

議案に対する質疑・議案の委員会付託

10日

総務常任委員会

11日

文教厚生常任委員会

14日

建設経済常任委員会

18日

委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

※各会議は午前10時開始予定です。また、会議の予定は変更となる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

◆議会傍聴のご案内◆

本会議、常任委員会、議会運営委員会は原則公開しており、どなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の議会事務局までお越しいただき、傍聴申込書に住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取ってください。事前予約は不要です。

傍聴は、市議会の活動にふれることができる身近な方法ですので、ぜひお越しください。

【注意事項】

・傍聴席では飲食禁止です。

・携帯電話の電源は必ずお切りください。

・写真撮影、録音はしないでください。

◆議会中継のご案内◆

市議会の本会議については、インターネットによる中継を行っており、本会議の開催中にご覧いただける「ライブ中継(生中継)」と、いつでも視聴ができる「録画中継」の配信をしています。中継は、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。

総務常任委員会

令和元年度幸手市一般会 計歳入歳出決算 (議案第49号)

問 法人市民税の増額理由は。

答 業績のよかった大きな会社が数社あり、主なものとして、機械製造の会社が、前年度比で2143万8千円の増額、また印刷関係の会社が、前年度比で1549万円の増額、さらに石油関係の会社が、前年度比で923万7千円の増額となっていることが要因である。

問 地方創生推進費、旧吉田中学校木造校舎再生検討事業補助金の内容と用途は。

答 現在、旧吉田中学校木造校舎は、郷土資料館の民具資料展示室として使用している。

この木造校舎について、今後のあり方などについて、主に3点の調査・研究を、日本工業大学に行っていただいている。1点目は、木造校舎の希少性や価値、地域住

民にとつての愛着を把握するため
の調査。
2点目は、将来的に木造校舎を
再整備して活用する場合の、参考
事例の現地調査。

3点目は、木造校舎を再現する
取り組みとして、当時の生徒が使
用した机と椅子の復元制作。
となつており、これらの取り組
みを支援するため、補助金として
支出した。

令和2年度幸手市一般会 計補正予算(第6号) (議案第65号)

問 土木費国庫補助金の道路メン
テナンス事業費補助金の採択条件
の内容は。

答 当初予算では、古川橋の架け
替え事業と橋梁定期点検事業につ
いて、社会資本整備総合交付金を
活用する、ということと計上して
いたが、国の新たな補助金である、
道路メンテナンス事業費補助金が
新たに創設された。こちらの交付
率がよいことから、今回の補正で

古川橋架け替え事業、事業費84
00万円、交付率55%ということ
で交付額4620万円、同じく橋
梁定期点検事業、基本額の委託料
760万円、交付率55%というこ
とで418万円、合計5038万
円を計上した。

問 財政調整基金に3億円積立て
ているが、法的基準の不足額は、
今後、積立て可能であるのか。

答 決算余剰金の処分は、地方自
治法の第233条の2、各会計年
度において決算余剰金が生じたと
き、翌年度の歳入に編入しなけれ
ばならない。ただし、条例、また
は議会の議決により、余剰金の全
部または一部を翌年度に繰り越さ
ずに基金に編入することができる。
さらに地方財政法の第7条、地方
公共団体は、各会計年度において
歳入歳出の決算上余剰金を生じた
場合は、余剰金のうち2分1を下
らない額を翌々年度までに積立て、
または繰上償還しなければならない
という規定がある。

今年の実質収支額、6億773
1万6千円の2分の1では、3億
3865万8千円となり、今回の
補正で計上した積立金3億円では
2分の1に至らない。残りの38

65万8千円を今年中に積みまけ
ればならないところだが、実質収
支額が毎年低くなっており、財政
状況が厳しいなかでのやりくりと
なるが、繰出金と繰入金で計上し
ていく。

問 資源物運搬・選別処理事業が
3か年、ごみ収集事業が5か年の
債務負担行為を設定されているが、
前回の債務負担行為と金額的な差
異は。

答 資源物運搬・選別処理事業の
前回の債務負担行為の額は、1億
876万4千円である。3年間で
限度額1億2900万円、これを
3年で割り、年間約4300万円、
令和2年度の予算額が3399万
4千円なので、年間900万円程
度の増額となっている。また、ご
み収集事業の前回の債務負担行為
の額は、8億665万6千円であ
る。5年間で限度額が10億788
3万円、これを5年でわり、年間
2億1576万6千円である。令
和2年度の予算額が1億6192
万円なので、年間5384万6千
円の増額となっている。

文教厚生常任委員会

令和元年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定 (議案第49号)

問 協働事業推進協力報償金の内容は。

答 市との協働事業を推進する活動を行う104の行政区に対し、その世帯数に、1世帯当たり600円を乗じた額を協力報償金として支給している。市および関係機関の広報紙の配布のほか、クリーン作戦に参加する際や、地域のいろいろなイベント等に使っていただくために、報償金として支給している。

問 子どもの学習支援業務の内容は。

答 一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワークに委託しているウェルス幸手で教室の開催を行っており、毎週水曜日、午後5時半から午後7時半まで学習支援を行っている。また、夏休み、冬休み期間中は、午後1時から午後5時まで学習支援を行っている。

問 消防団運営交付金の配分は。

答 消防団運営交付金は、団本部に16万円、また、1分団当たり80万円、8分団あるので、合計で656万円交付している。

問 入学準備貸付金の内容は。

答 大学、専門学校入学者が、50万円掛ける4名で200万円、高等学校入学者が、25万円掛ける2名で、合わせて250万円。

令和元年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 (議案第50号)

問 国民健康保険料引き下げの可能性は。

答 毎年、県から提示される標準保険料率が、現状の当市の税率とは乖離があり県の方が高くなっている。税率を引き下げるのはなかなか難しい。

令和元年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定 (議案第52号)

問 不納欠損の状況は。

答 昨年度の欠損額は、759万3600円で、実件数にして、208名分である。介護保険料の不納欠損は、2年間の時効がかり、滞納されている方に、納期限20日以内に督促状の発送からスタートをし、催告書の発送、電話催告等、また輪宅、直接、訪問などをして滞納の回収に当たっている。

幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (議案第58号)

問 減免申請の要件は。

答 一つは、新型コロナウイルス感染症により世帯主が死亡し、または重篤な傷病を負った世帯の方。もう一つは、新型コロナウイルス感染症の影響により世帯主の収入(事業収入、不動産収入、山林収入、給料収入のいずれか)が、減少が見込まれる世帯の方。

幸手市介護保険条例の一部を改正する条例 (議案第59号)

この条例改正は、幸手市国民健康保険税条例の一部を改正する条例と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響など、災害その他やむを得ない事情がある場合の規定である。また、補てん財源は、国が10分の10補てんする。

令和2年度幸手市一般会計補正予算(第6号) (議案第65号)

問 病児保育事業負担金の内容は。

答 病児保育事業は杉戸町との広域利用事業として実施している。医療機関との契約は杉戸町が実施し、本市は杉戸町に負担金として支払いをしている。

その負担金の金額は、医療機関との委託契約金額から国・県から交付される補助金を差し引いた額の2分の1に、事務費をプラスした額。国庫補助金等は、利用人数によって変動する仕組みになっており、本年度は新型コロナウイルスの影響もあり実績人数の大幅な減少が見込まれ、国庫補助金等が減額となる見込みである。その結果、市の負担額の増額計上をした。

問 学校管理費の緊急対応工事の内容は。

答 小学校で今後発生し得るであろう修繕に対応するため、当初予算500万円を緊急工事として計上している。既に8月で266万1000円を執行してお令和2年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算決算では、878万7000円かかっているため、今回250万円を計上した。

令和2年度幸手市一般会計補正予算(第2号) (議案第66号)

問 国民健康保険運営協議会委員の報酬の増額理由。

答 増額の理由の一つは、市の国民健康保険運営協議会の開催日数が例年に比べて増加する見込みである。もう一つは、当市の国民健康保険運営協議会の会長が埼玉県国民健康保険運営協議会の理事に就任したため、理事会の参加に対する報酬を計上した。

建設経済常任委員会

令和元年度幸手市一般会歳入歳出決算（議案第49号）

問 市民農園管理業務委託料で管理する区画数、市内の休耕地を市民農園として活用する考えは。

答 現在78区画を管理している。休耕地については、担い手を探して耕作していただく方向で動いており、休耕地の市民農園としての活用は現段階では考えていない。

問 全国さくらサミット運営業務委託の成果と評価は。

答 全国的に記念イベントに行われることが多く、本市では幸手駅橋上駅舎東西自由通路完成記念と併せて花火を企画。幸手市をPRができたものと考えている。



問 ハッピーハンド事業は決算額15万円で十分な活動ができていますか。

答 補助金は市民まつりでの投票等の経費で、幸手市青年会議所によると、手形はアポイントがとれないなど2015年以降、頂けていない状況が続いている。

問 準用河川大中落・中落掘削工事の効果・検証は。

答 大中落は吸引工法で、中落は掘削工法で浚渫を実施した。2018年9月と2020年6月の降雨で検証を行い、施工後の2020年6月は2018年9月の降雨の14倍降ったが、水位の上昇がなかったことから効果があったと考えている。

問 雨水排水ポンプ修繕工事の内容は。

答 中川にある千塚ポンプ場の排水ポンプ羽根車を更新した。部品のみ交換も検討したが、値段が新品と差異がなく、本体が平成13年設置であることから全部交換を行った。異物混入防止策については既存スクリーンの目の大きさを調整した場合の効果进行调查し、対応が可能であれば検討する。

令和元年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算（議案第54号）

問 物件移転補償費の件数は。

答 建物移転は計画上262戸に對して完了は44戸である。また、262戸の補償額総額は4億1132万3千円を見込んでいる。

令和元年度幸手市水道事業会計決算（議案第55号）

問 減価償却費の今後の推移は。

答 令和元年度は平成30年度に比べて1平方メートルあたり約4円増加した。主な理由は平成29・30年度に更新した第2浄水場の操作盤関係工事の減価償却費が増加したことにある。

減価償却が終わると耐用年数も近くなるので、その時点の施設更新も考えられるため、今後は給水供給量に応じた施設のダウンサイジングを考えながら減価償却費の減少を図っていききたい。

幸手市都市計画マスタープランの一部改定（議案第61号）

問 作成を1年先送りする理由は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた地区別懇談会が開催できなかった。今後は、感染症対策をとりながら懇談会を実施してまいりたい。

令和2年度幸手市一般会計補正予算（第6号）（議案第65号）

問 市民まつり業務委託料の減額理由と中止による経済損失、代替事業の考えは。

答 実行委員会に諮り中止の決定をした。6月から「ハッピーエールプロジェクト事業」に取り組んでいる。また、コロナ対策をした事業者への補助も実施。現在、商工会と幸手駅自由通路への出店など、いろいろなイベント等も検討中で、経済損失も考慮し進めたい。

問 香日向排水機場エンジン熱交換器取換工事の内容、予算見積もり方法は。

答 冷却装置を全部新品に取り換える想定での見積もりだが、一度解体した後、使える部品は使い、工事工程を調整しながら、可能であれば、工事費の縮減を図ってきたい。

市政に対する

一般質問

今定例会では、12人の議員が9月2日、3日、4日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

四本奈緒美議員

- 幸手市の防災減災の取り組みについて

坂本達夫議員

- 新型コロナウイルス対策について
- 次期公共交通について
- 洪水対策について

青木章議員

- 新型コロナウイルス対策での幸手市での事業について
- 幸手市におけるPCR検査等について
- スポーツ都市幸手を目指して

小林啓子議員

- 幸手市デマンド交通について
- 地方創生とシティプロモーションについて

松田雅代議員

- 埼玉東部消防組合幸手西分署救急ステーション化について
- 新型コロナウイルス感染症対策における幸手市の通常業務に関する対処方針について

本田謡子議員

- 台風19号から約1年、現在の防災対策とこれからについて
- 幸手市避難所運営マニュアルについて

大平泰二議員

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 幸手市定員適正化計画について
- 財政問題と駅西口土地区画整理について

小林英雄議員

- 市庁舎の現状・新庁舎建設までの対策について

海老沼隆夫議員

- 公共交通機関について
- 保険料の均等割りの改善について
- 排水溝の汚泥について

枝久保喜八郎議員

- 防災対策について
- コロナ対策について
- 本年度教育行政重点施策について

武藤壽男議員

- 幸手市の財政状況について
- 市の諸計画について

小河原浩和議員

- 市長就任1年目を迎えるに当たり市政運営全般の統括について市長に伺う
- 選挙公約に掲げた4本柱の施策と課題について市長に伺う

7月臨時会

傍聴者	3人の方が傍聴されました。
-----	---------------

9月定例会

傍聴者	35人の方が傍聴されました。
-----	----------------

議会インターネット中継のアクセス件数
インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。

7月	495件	8月	122件	9月	3509件
の方が視聴されました。					

9月定例会 会期日程

- 9月1日(本会議)
 - ・開会・会期の決定・報告事項
 - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 9月2日・3日・4日(本会議)
 - ・市政に対する一般質問
- 9月10日(本会議)
 - ・議案に対する質疑
 - ・議案の委員会付託
- 9月11日・14日(委員会)
 - ・文教厚生常任委員会
- 9月15日(委員会)
 - ・総務常任委員会
- 9月17日(委員会)
 - ・建設経済常任委員会
- 9月28日(本会議)
 - ・委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・閉会

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 9月定例会の会議録は12月上旬頃公開予定です。

災害時のペット同行避難について



四本奈緒美議員

Q 本年5月に作成された「幸手市避難所運営マニュアル」には、「避難所の敷地内（屋内・屋外）にペット専用のスペースを設けます。」とある。

災害時におけるペット同行避難の幸手市の考え方と対策を伺う。また、飼い主のマナーについて伺う。

A 避難場所および避難所を最優先に守る場所であると考えている。

避難者の中には、アレルギーの方や、動物が苦手で恐怖を感じる方もいると思うので、ペットを同伴された場合については、可能な限りペットの居場所を検討したいと思うが、人と同じ避難空間には入れないこと、ケージ等に入れることなどの一定の条件は必要と考えている。



(市民生活部長)

次期公共交通について



坂本達夫議員

Q 「デマンドバスは皆様の意見を参考に、より良い公共交通となるよう見直す」としていた。その後、市は今年3月に公共交通アンケートを実施した。その結果、市民が望む公共交通は「循環バス73・8%、デマンドバス11・9%」という内容であった。

市長は昨年11月、所信表明をされた。その中に「デマンドバスは皆様の意見を参考に、より良い公共交通となるよう見直す」としていた。その後、市は今年3月に公共交通アンケートを実施した。その結果、市民が望む公共交通は「循環バス73・8%、デマンドバス11・9%」という内容であった。

では、市長はいつから循環バスを運行させる考えなのか。9月末に5年間のデマンドバス契約が切れるので、令和2年10月から実施を考えているのか。

A 現在、循環バスを軸とした公共交通について協議を行っている。今後、循環バスの運行内容について議員の皆様に対してご意見をお聞きし、また、地域公共交通会議で、承認をいただく予定である。その

現在、循環バスを軸とした公共交通について協議を行っている。今後、循環バスの運行内容について議員の皆様に対してご意見をお聞きし、また、地域公共交通会議で、承認をいただく予定である。その

後に、予算の議決、運行业者の選定、路線認可のための協議を経て、国土交通大臣への申請など、諸手続きが必要である。また、停留所設置のため関係各所と調整する必要がある。このような多くの手順を踏んでいくことから、次期公共交通の導入時期については、令和4年1月であれば運行可能であると見込んでいる。(市長・市民生活部長)

高校野球公式戦幸手市誘致について



青木 章議員

Q 「令和2年度夏期埼玉県高等学校野球大会」が8月8～23日、県内13球場で開かれました。埼玉県独自大会に146チームが参加し、狭山ヶ丘の優勝で幕を閉じました。この大会13球場のうちのひとつが「幸手市菅ひばりヶ丘球場」でした。私自身球場に向き場外から見てまいりましたが、とて

も素晴らしい試合でした。市民が身近かで見れるよう、今後も幸手市で高校野球の公式戦が開催されるよう市長が先頭に立ち誘致をして欲しいと思うがいかがでしょうか。

A 新型コロナウイルス感染症拡大により、第102回全国高等学校野球選手権大会が中止となり、埼玉県独自大会の試合の一部が幸手市のひばりヶ丘球場で開催されました。

例年開催されている夏の全国高等学校野球選手権埼玉大会の開催会場として使用するためには、球場設備に不足があるとの指摘を埼玉県高等学校野球連盟より受けており、現段階での誘致は難しい状況ですが、前向きに誘致活動を行ってまいりたいと考えます。
(市長)

幸手市デマンド交通は



小林啓子議員

Q 平成27年10月から幸手市デマンド交通の運行が開始された。

現在に至るまでの経緯と運行形態で見直された内容を伺う。

現在の登録者数を伺う。
幸手市にとって今後の幸手市デマンド交通のあり方を市長に伺う。

A デマンド交通は、利用したい時間が重なることなどから、予約が取りづらい、予約が取れないなどの声があった。今まで、予約があれば運行時間をまたぎ、次の便へと継続して予約・運行するなどの見直しを行った。

令和2年7月末時点で4、316人に登録して頂いているが、現在は、次期公共交通に対するアンケート結果で希望の多かった循環バスを軸に、協議を行っ

ている。また、今までのデマンド交通の利便性も踏まえて、タクシー補助制度など、さらに検討していきたいと考えている。

(市長・市民生活部長)



消防西分署救急ステーション化について



松田雅代議員

Q 今年5月、組合正副管理者会議において西分署の「救急ステーション化案」が提示され、幸手市では庁議を経て案の受け入れを決定。8月18日には組合に対し市として西分署の救急ステーション化に同意の立場で態度表明することとなった。

正副管理者会議での協議の結果を伺う。

A 8月18日に4市2町の首長全員が出席する正副管理者会議において、組合から提示された西分署の救急ステーション化が、現時点において最善の選択であるとの結論に至ったので、この内容でお願いしたい。

市長には来年4月1日の「西救急ステーション」の開所に向け最後までご尽力いただきたいと思うが今後の手続きを伺う。

いと申し上げた。各首長におかれては、おおむね好意的に受け止めていただき、明確に反対される首長はおられなかったため、承認されたものである。

この結果は、今後組合議会に報告されると考えている。

(市長)

活かせるのか幸手市避難所運営マニュアル



本田謡子議員

Q 本年5月に発行された「幸手市避難所マニュアル」は、どう活用していくのかを伺う。また、自主防災組織がある無しに係わらず、早急に、「地域向けの基本的」な避難所マニュアルを作成し、その後、各地域で地域に合った地域版避難所マニュアルを作り上げ、そして訓練が必要と考えるが、市の見解

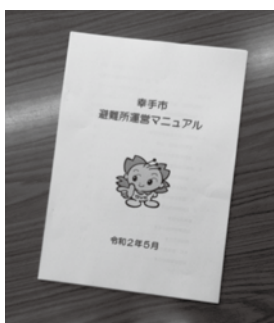
を伺う。

A 避難所運営マニュアルについては、市のホームページにおいて周知を図っている。

今後、多くの市民に内容を周知するために、防災講話などの機会を設けていくとともに、各避難所等の開設および運営について、施設や地域、避難所担当職員等の協議を進め、地域での避難所運営体制を整えたいと考

えている。

(市民生活部長)



幸手市
避難所運営マニュアル

市の財政難となった原因について



大平泰二議員

Q

幸手駅西口土地区画整理事業については、令和2年度末までの見込額で6億1220万円上回り、駅舎建設では55%の国庫補助としたが交付された補助額は19・9%。古川橋橋梁改修事業では2億8637万円も上回る事態となっています。これら予算を上回った総額は約13億円になろうとしています。

A

幸手駅舎・東西自由通路の事業費は、精算額が25億6921万5277円となり、駅舎の最終的な補助率は20・5%である。古川橋の事業費は、最終的に10億8089万559円を見込んでおり、利用者の安全や災害時の輸送道路が確

保された。幸手駅西口土地区画整理事業については、事業費は計画より上昇傾向になっており、予算規模は社会情勢および財政状況を踏まえ、事業を進めていく。今後、すべての事業について検証していきたいと考えている。
(市長、建設経済部長)

市庁舎の現状・新庁舎建設はどうか



小林英雄議員

Q

本庁舎は、建築後50年以上経過し、経年劣化、雨漏り等の影響により、天井の一部が剥がれ落ちるなど多くの問題が起きている。耐震強度不足のため、大きな地震の発生により、倒壊する可能性が高い状態にある。市民が安心して利用できる環境の確保を、早急にす

A

べきと考える。厳しい財政の為、本庁舎建て替えは何年先になるかわからない。安全確保を最優先に考え、本庁舎の使用を止め、機能を移転する為に公共施設等を有効利用することについて伺う。

えられるが、市民の利便性が悪くなるという面もある。
庁舎建て替えを前提とすると、二重投資になってしまうこともあり、現時点では検討していないが、新型コロナウイルス等の感染症への対策も併せて、さまざまな方法を検討してまいりたい。
(総務部長)

デマンドバスの運行方法などの改善について



海老沼隆夫議員

Q コロナウイルスの感染問題は有りますが、これまで9人乗車できるバスにて、一人又は二人乗車のみ運行がほとんどの状況のようでしたが、その後、どの様に改善されたのか。

電話をしても予約が取れないなどの受付の仕方、予約定員などは改善されたのか。

利用者の乗車・目的場所によって、複雑な組み合わせになりますが、これまでの運行結果から、利用しやすいシステムは組み上がっているのか。
循環バスの復活は有るのか。

A これまでの1時間ごと

に運行を区切るのではなく、予約があれば時間をまたぎ次の便へと継続して予約・運行できるようにしたり、乗車・降車にかかる時間設定を短くして

乗合率を高められるように変更を行った。

今後もデマンドバスを運行している間につきましては、予約受付システムを用いて、利用者の方の確に案内し、一人でも多くの方の要望に応えられるように努めていきたい。

なお、市の公共交通をデマンドバスから、循環バスを中心としたものに見直しを進めているところである。(市民生活部長)

PCR検査の現状について



枝久保喜八郎議員

Q 同検査場設置以来の検査件数はどれほどか。次に幸手市民が検査を受ける必要性が生じた場合、どのようなルートで受診することになるのか。かかりつけ医によって異なる状況があると聞かすがどうだろうか。

また、県の指導および補助金月間270万円によって運営さ

れている同事業の補助金の使途明細および事業報告等、責任の所在はどのようになっているのか。

A 北葛北部および南埼玉郡市医師会が週5日運営するPCR検査センターの5月から7月までの検査件数は358件である。

現在の体制では、運営に参加しているかかりつけ医からPCR検査センターを紹介されるか、

帰国者・接触者相談センターに相談して検査を受けられるかの2つのルートが存在する。
PCR検査センターは県の委託事業であり、県の責任下に、委託料が適正に運用されているか審査されるが、市はこの審査に関わっていない。
(健康福祉部長)

厳しい財政状況下の認識と今後の運営は



武藤 壽男議員

Q

本市は、自由通路駅舎、西口区画整理、古川橋架替等の事業の結果、令和元年度決算時、積立金は約五億円、市債は約百四十五億円と、厳しいものとなっている。

市は、どのような認識をお持ちでしょうか。

また、生産人口の減少下、市税の増高は厳しく、一方、少子

A

高齡化が進行する中、扶助費等民生費は必要であり、更には、市庁舎をはじめ公共施設の老朽化は著しく、早急に施設の管理計画のもと整備改善しなければならぬが今後の財政運営を伺う。

実質単年度収支は平成28年度から赤字が続いており、予算編成をこのまま続けると、財政調整基金が枯渇し、財政運営を逼迫する恐れがある。

全ての事業の総点検を行い、運営・維持管理費や補助金の見直し等、行財政改革を進め、国県補助金等を最大限に活用し、交付税算入率の高い地方債を優先して活用する。また、公共施設等の再配置に備えるため、基金を積立て、中長期的な視点に立ち、財政規律を守り持続可能な財政運営を行う。

(総合政策部長)

選挙公約の施策と課題について



小河原 浩和議員

Q

市長就任以来一年を迎えるに当たって、市政運営全般の統括についてのうち、総点検を行うとした進行状況について伺う。

特に、公約でもある災害対策の調整池、西分署の存続についての進捗状況を伺う。

A

事業の総点検については、事業の必要性、有効性、費用対効果を検証しながら、必要な事業に全力で取り組むべく、現在も進めている。

調整池については、倉松川の改修事業の進捗や流域全体の浸水状況、国等の治水対策の方向性などを考慮し、調整池を含む包括的な雨水対策について調査・研究を行っていく。

西分署については、西分署の救急ステーション化としての存

続が、東部消防組合正副管理者会議において承認された。

(市長)



幸手市議会「議会報告会」について

◆「議会報告会」とは？

幸手市議会では、市民の皆様と市議会議員とが、直接市政全般について、自由に情報交換および意見する場として「議会報告会」を毎年、実施してきました。

右の写真は、昨年（令和2年）の報告会の様子です。

9月議会の報告ののち、意見交換を行い、貴重なご意見・ご提言をいただきました。



◆今年度の「議会報告会」は中止します

令和2年度の「議会報告会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止することといたしました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

◆幸手市議会について ご意見・ご要望をお聞かせください。

今年度の「議会報告会」を中止としたことから、来年度以降の開催に向けて、参加者の増大および内容の更なる充実を図ること、そして今、市議会に対してのご意見やご要望をお聞かせいただきたいと思います。

ぜひご協力をお願いいたします。

提出方法

下記のメールアドレス、ファックスで送信してください。
回答は議会日より令和3年2月号をもって掲載いたします。

● Eメール：
gikai@city.satte.lg.jp

● FAX：
0480-42-8824

● 提出期限
令和2年11月30日(月)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書を可決

意見書案第1号

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月28日

埼玉県幸手市議会議員長 宮 杉 勝 男

令和2年第1回7月臨時会 提出された議案の結果

公明党…公 幸手市政クラブ…幸 自民党…自 新政会…政 新緑…緑 日本共産党…共 無所属…無 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
		四本奈緒美(公)	坂本達夫(自)	海老沼隆夫(共)	小林英雄(政)	枝久保喜八郎(無)	宮杉勝男(政)	本田諤子(政)	小河原浩和(緑)	小林啓子(公)	松田雅代(幸)	木村治夫(自)	藤沼貢(自)	青木章(緑)	武藤青勇(幸)	大平泰二(共)		

(幸手市長提出議案)

議案第45号	幸手市長及び教育長の給料の減額に関する条例	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	賛成多数可決
議案第46号	令和2年度幸手市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第47号	令和2年度幸手市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決

(議員提出議案)

議案第45号	幸手市長及び教育長の給料の減額に関する条例に対する修正案	×	×	○	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	○	—	賛成少数否決
--------	------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

令和2年9月定例会 提出された議案の結果

(幸手市長提出議案)

議案第48号	令和元年度幸手市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第49号	令和元年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数認定
議案第50号	令和元年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定
議案第51号	令和元年度幸手市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数認定
議案第52号	令和元年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定
議案第53号	令和元年度幸手市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第54号	令和元年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	建設経済	賛成多数認定
議案第55号	令和元年度幸手市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第56号	令和元年度幸手市公共下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第57号	幸手市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第58号	幸手市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第59号	幸手市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第60号	幸手市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第61号	幸手市都市計画マスタープランの一部改定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第62号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第63号	市道路線の変更について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第64号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第65号	令和2年度幸手市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第66号	令和2年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第67号	令和2年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第68号	令和2年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第69号	令和2年度幸手市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第70号	令和2年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第71号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第72号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第73号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第74号	副市長の選任について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意

(議員提出議案)

意見書案第1号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
---------	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

議会広報編集委員

- 委員長 宮杉勝男
- 副委員長 小林啓子
- 委員 四本奈緒美
- 委員 枝久保喜八郎
- 委員 本田諤子
- 委員 小河原浩和
- 委員 松田雅代
- 委員 木村治夫
- 委員 大平泰二

編集後記

幸手市初の避難勧告が発令された昨年の台風19号より1年。先日、利根川上流河川事務所の前所長の講演を聞く機会があった。栗橋の事務所で陣頭指揮を執った方である。台風19号はカスリーン台風を超える雨量が約1日で降り、13日未明の予測水位は10mを越え、越水を覚悟したという。危機一髪を回避できたのは、明治以降近代河川整備を延々と続けてきた先人達の技が全部活かされた事と、大事な土地を提供して頂いた皆さんの協力であると。今、行政が取り組む感染症対応の災害対策と共に、我が家の準備も万全に。日頃の心がけが大事であると改めて思う。

